

大阪府立大学【現代システム科学域】

日 時 平成24年7月23日(月) 11:30~12:30
場 所 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス A1棟3階 大会議室
出席者 <新大学構想会議>

矢田委員(座長)、上山委員、尾崎委員、野村委員、吉川委員

<大阪府立大学>

奥野武俊学長、辻洋現代システム科学域長、牧岡省吾副学域長、
高橋哲也高等教育推進機構長

■大阪府立大学から資料に基づき概要を説明

(大阪府立大学)

現代システム科学域の受験生向けパンフレット(学域案内)に基づいて説明。「現代システム科学域」は、全国でも府大にしかない名前です。2年半かけて作りましたが、名前についてはかなり学長の思いが強くありました。システム科学域とか共生科学域とかの案がありましたが、最終的にいろいろな分野のものを組み合わせて現実の問題を解くことができるように学生を教育しようと、現代システム科学域にしました。

英語名称は、college of sustainable system science。和文とは対応していないが教員で議論し、文部科学省とも相談して認められました。

パンフレット8ページ参照。現代システム科学域は、知識情報システム学類、環境システム学類、マネジメント学類の三つの学類で構成。三つの円の真ん中の交わっている部分が学問の融合をイメージしています。

12ページに履修例を記載。例えば、知識情報システムの分野と環境システムの分野をそれぞれ勉強すれば、どういった分野で活躍できるかを例示。同じ履修例を16ページ、22ページにも記載。学問分野を複数勉強することを学生に指導しようとするカリキュラムを作りました。

学域の全体像は、9・10ページに記載。まず、1年次には初年次ゼミを設けて、大学での能動的な学び方を身につけてもらいます。また、1年次に各学類共通の学域共通科目を設け、学域の基本的な考え方を教えます。2年次以降は専門科目を設けていますが、他の学類の専門科目も必ず履修しないと卒業できないようにしており、これが大きな特徴です。

「資料8-1」に基づいて説明。学域のミッションとしては、知識情報・環境・マネジメントの知識を融合させて持続可能社会の実現をリードする人材を育成すること。また、全学に対する副専攻を提供し、幅広い学びの場の核となることを目指しています。

他大学との比較では、青山学院大学の社会情報学部が本学域と近い発想で構成しています。関西の大学でも一部文理融合の試みはあるものの、経済学、経営学を含むような広範囲な融合的教育は行われていません。

現代システム科学域では、文系の入試で入学した学生に対しても数学基礎と統計学を必修としているのが大きな特徴の一つです。

今後の課題としては、まだまだ知名度が低く、入試広報等に尽力する必要があります。

■質疑応答

(新大学構想会議)

なんばサテライトの資料、パンフレットはありますか。なんばサテライトは、MBAと公共政策ですね。どこの教員が担当しているのか。

（大阪府立大学）

経済学研究科の教員が担当しています。

（新大学構想会議）

市大の創造都市研究科とだぶって二重行政に見える。今日はヒアリングしませんが別途詳細なデータをいただきたい。このなんばサテライトと現代システム科学域は形式的には関係無いが、教えている先生は同じ人ですか。

（大阪府立大学）

現代システム科学域（学部教育）の一部の教員がなんばサテライトで指導しています。

（新大学構想会議）

融合型の中身を具体的におたずねしたい。パンフレットに履修モデル的なものがあり、こういう学問をやった人が、こういった分野で活躍するという、人材育成と履修モデル。人材育成をするには、シラバスの中身までチェックする必要がある。私の経験からいうと、経済学でも分野が細分化しており、シラバスの中身までチェックしてフォローする必要がある。最低限の履修モデルを示すだけでは無理。学生へのきめ細かいサポートが必要だと考えるが、そこまでやっているのか。

（大阪府立大学）

まだ現時点では十分できていません。ご指摘のシラバスの相互チェックについては、必ずしも現代システムのような融合の分野だけでなく工学など他の分野でも同じことを感じています。

（新大学構想会議）

本当に学生を育てよう、社会に送り出そうと思えばシラバスに入らないとできない。先生方はみな分担しているが、自分の都合でやって、前段階がないようなことがあちこち起こる。個人任せにせず教員間が連携し、学生をフォローする必要がある。

（大阪府立大学）

シラバスはすべて公開しており、何を教えるかではなく何ができるかの達成目標をシラバスに記載するように教員には指導。学生アンケートのほか今年度から導入した学生ポートフォリオなどを活用し、学生の達成状況を把握し、カリキュラムが機能しているかを検証していくことになっています。

（大阪府立大学）

先生のご指摘はそのとおり。文部科学省に行くときに、しっかり検討してやっています。十分かどうかということはありません。

（新大学構想会議）

本当に学生を育てるにはそこまで入らないといけない。

（新大学構想会議）

現代システム科学域を作った経緯は。いつ、どこで、誰が、どんな議論をし、どのあた

りが特に大きな争点になって、最終的にこの現代システムというくくりだしにしたとか、この3分野になったのかとか。

あと、既存の2つの学部、経済学部と人間社会学部のこの中の学科が強固な単位としてあったと思うが、それをわけるとかわけないとか。各論に入るまえに。これを作った経緯を教えてください。理念じゃなくて、誰と誰が議論してどうなったか、それを聞きたい。

（新大学構想会議）

情報とか数学とか統計とかは、この2つの学部から出ているのか。新たに採用したのか。

（大阪府立大学）

もともといたわけでない。全学から集めました。情報だけでなく、現代システム科学域は全学から人を集めています。

（新大学構想会議）

人間社会学部や経済学部をベースに作ったのか。

（大阪府立大学）

ベースにしたわけではありません。結果的に人数は、人間社会学部の三分の二、経済学部の半分ぐらいの先生がいます。あとは、工学部や生命環境の先生もいます。

とにかく最初に発想したのは、全学で現代システム科学域を作ろうとして、全学でプロジェクトチームを作って議論。最終的には、全部融合するなら「環境」でいこうと私が決めました。かなり強くいった。環境をするために社会があり人間があるならそれでいきましょうと。また、「情報」を入れないと融合しないというのが私の持論なので情報も入れました。その中で、経済も人間社会のことも問題であったので、「マネジメント」にしましょうと。プロジェクトチームで喧々諤々議論しました。

（新大学構想会議）

基本的にここの卒業生はどの分野で活躍することを前提にしているのか。文部科学省には何と言われたか。

（大阪府立大学）

どの分野といえ、既存の分野ではどの分野でも。文部科学省にはそういう説明をしています。例えば、マネジメント学類の学生が経済や経営の分野での活躍を目指すなら、環境や情報の知識を兼ね備えた強みを持って活躍できることになります。そういう仕組みにしています。

（新大学構想会議）

だいぶんわかる。べき論とか理念とかはともかく、この変更は大変だったと思う。成功かは知りませんが、変えるのは大変で、実際変えられたことはすごいことだと思う。今後、府市統合の中で同じ規模の大変なことが起こる。そういうときの段取りは、これに学ぶべき、良いやり方は引き継ぐべきだし、失敗体験にも学ぶべき。ある種ガラガラポンするときに留意すべきことを聞いておかないと、今回大変だったことは次回も大変なはず。

（大阪府立大学）

3学類にしようというのは学長の強いリーダーシップによるものです。名称について、学

長は思いをもっておられたが、教員に任せてもらいました。大きなくくりとして環境と情報とマネジメントというのも学長の強い意向。どういう学位を出すか、またカリキュラムをどうするかは教員に任されました。2年前の11月頃から議論を始め、その後、週2回ぐらいの頻度でカリキュラムを中心に議論し、6～9ヶ月程度かかりました。文部科学省への申請では、更地に作るわけではなく、既存の学部授業をきちんと保障しながらやっていかなければならず、いろいろなところで齟齬がでてきたが、かなりの教員・職員の協力を得ながら進めました。

23年の4月に文部科学省に学域設置の届出を行った後は、広報活動にかなり時間と労力をさきました。高校・予備校への説明やオープンキャンパスなど。関心は強く持っていたいていました。入試科目の設定も半年ぐらいと相当時間がかかった。既存の各学部は、それぞれ違うやり方でした。

（新大学構想会議）

もう一つお聞きしたいのは、経済学部のほうは比較的さっぱりこちらに持ってきた感じがするが。

人間社会学部のほうで、心理学とか福祉とかはわかりやすいが、言語・文化はいわゆる文学部的なものは、これは高等教育のほうでいいのか。ざっくりいうと、言語・文化は高等教育で、その他の教員はどうか。

（大阪府立大学）

言語・文化等の教員は文学部的なものは高等教育推進機構に、社会福祉の教員は地域保健学域の教育福祉に、心理系と社会学系の教員は現代システム科学域に移行しました。

（大阪府立大学）

言語文化学科のごく一部及び人間科学科の三分の二ぐらいが現代システム科学域に、それ以外が高等教育推進機構と地域連携研究機構に移行しました。人間科学科から高等教育推進機構に移行した教員は、文化史系の人などです。

（新大学構想会議）

参加しなかった人は、語学とかやはり文学部的な方ですね。

経済学部から現代システム科学域への移行状況は。

（大阪府立大学）

経済学部からの移行は、現代システム科学域の主担当に約半分。ただし、授業科目としてはほぼすべての教員が担当。残りの半分ぐらいは、主担当を地域貢献とし、副担当として現代システムを担当。

（新大学構想会議）

そうすると高等教育ですか。

（大阪府立大学）

いえ、地域活性化センターです。

経済全体で38、40人ぐらいいたのが、20人は現代システム科学域に、残りの20人弱は地域活性化センターに移行。

（新大学構想会議）

かなり多いですね。その背景は。

（大阪府立大学）

それが一番、さきほどの何故こういう発想かというと。経済と人間社会学部については、府の戦略本部会議で評価されましたので、その評価に応えるべく、私が学内にバウンダリーコンディションを出しました。同じ人たちがそのままいくような学部は作れません。こういうバウンダリーコンディションを出したなかで、再編を考えてくださいと。これが私のミッション。そしたら、地域活性化でこういうことをやりましょうと、提案や議論をして決めました。

（大阪府立大学）

学生定員でいいますと、経済学部は250名で、現代システム科学域のマネジメント学類が130名。経過措置としては旧の学部の学生がそれだけ人数がいますが、年数が経つにつれて人数が減っていく、そういうところもかなり考慮して戦略的に教員の配置をしています。

（新大学構想会議）

今言われた、バウンダリーコンディションは、地域連携や地域再生に貢献するような分野にやれと府庁に言われたということですか。

（大阪府立大学）

府庁に言われた訳ではありません。知事との話では先生ご存知のとおり、今ある学部を横に動かして、そのまま名前だけ変えるのはしないでください。それは私は困りますと、そこがありましたので、私が学内で皆さんに出したバウンダリーコンディションは、知事は横滑りとおっしゃったが、そういうことはしないと。新しく作るためにはどうしたらいいですか。こうしましょう。人数は。じゃ半分にしましょう。学生の定員も半分にしましょう。何ができますか。こういうことにしましょうと決めました。府は関係ないです。

（新大学構想会議）

なぜ、半分ですか。

（大阪府立大学）

それは私の判断。横から全部動かすことはできません。ですから組織は別にして、教育は担保しないといけませんし、将来的にはこういう絵をかいていこうとしました。全学から工学も生命も全部集まるのに、経済学部だけを多くもってくることはできません。

（新大学構想会議）

混ぜるときのルールとして、スパッとしたということか。
かなりぱっさりやられた。

（大阪府立大学）

こだわってやったところ。かなりがんばってやりました。

（新大学構想会議）

入試は文系か。

（大阪府立大学）

理系（数 要）・文系（数 不要）両方が受験できるようにしていますが、受験者は文系が圧倒的に多いです。

（新大学構想会議）

カリキュラムについて、環境とか情報とかミックスしてまとめて教育するのは、縦割り教育体制に対するアンチでいいが、数学ベースにすると学生がついてこれないのではないか。もともと数学あきらめた人を戻すのは難しいのでは。

（大阪府立大学）

入学してから教え直しています。文系向けの数学の授業を1年かけて作りました。ここは自信をもってやっています。

（新大学構想会議）

現代システム科学域のようなカリキュラムは、教える側の押し付けではなく、学生自身に、頭の中で融合してもらう必要がある。そうしたものが一番役立つことになる。

そういうものをアンチテーゼで作らないといけませんが、みんな一生懸命縦割りになって、自分の勉強を18歳に押し付けてしまっており、狭いところで優秀だがおおざっぱなところではできない。名前はなんでもいいが、こういういろんなディスプリンを投げて、学生の頭の中で融合させることが必要。そのとき、何をベースにするか。数学をベースにするのは一つの面白い思考体系。ついていけるかどうか。

（大阪府立大学）

チャレンジだと思っています。高校のときに、理系をあきらめたが技術者になりたいという学生もいます。何年か経ってから評価・検証したい。

（新大学構想会議）

センター試験ではウエイトをおいているのか。数学はどれくらい。

（大阪府立大学）

センターと個別入試の配点が半分ずつぐらいで、数学は理系型の個別入試で半分ぐらいです。

（新大学構想会議）

今日のヒアリングの基本方針に対する問題提起でもあるが、学域を理解しないと始まらないが、府大・市大統合を考えると学群の中身を理解しないといけない。どの教員がどんな分野を担当しているのか。科目をみればある程度はわかるが、わかりにくい。人間社会学部のパンフレットをみるとどんな先生がいて何をやっているかわかる。経済学部はまったくわからない。

お願いしたいのは、第1学群の教員の氏名と元の学部と専門分野の資料がほしい。できあいの資料でもいい。社会科学がよくわからない。経済学部は何をやってきたのか全然わからない。経済学部は市大にもあり、創造都市研究科とビジネススクールは統合再編のコ

アになる。リソースとして把握したい。

同じように今後のヒアリングでも、第2はわりとわかりやすいが、第3なども含めて。

（新大学構想会議）

社会に出たときは、理系の分野も文系の分野の知識も両方必要。経営するときにはマネジメントの知識がいるし、営業職でも統計などの数学の知識は必要。

（新大学構想会議）

数学的思考のできない文系が多い。企業に入っても使えない。

（大阪府立大学）

従来の文系の学生に対して論理的な思考を強化するために、大学に入ってから必修で数学を勉強してもらうことにしました。これは高校からも評価してもらっています。企業の方からも期待されており、この方向は間違っていないと考えています。

（新大学構想会議）

府大の文系は前からわかりにくいところがあるが、文学部とか法学部とか伝統的なしきりになっていない。市大のヒアリングをしていると、やはり文学部とか理学部とかサイエンスのベースであって、あのくくりは学生からみても非常にわかりやすい。研究者育成も当然。普遍学部といわれる。その種の議論は当然府大でもあったと思うが、どういう議論で、どういうやり取りがあってこういう結果になったのか。

（大阪府立大学）

私を中心に決定しました。従来の学問分野で切り分けるのはひとつのやり方であるが、幅広い新しい発想で切り分けるやり方もあります。学内的には考え方を変えていこうと、工学は変えると弱くなるが、現代システムは環境でやっていこうと説得しました。本当にできるかという指摘もありました。

（新大学構想会議）

工学部のスケールメリット論は市大のヒアリングを通して、国立大学との比較でも何となく理解できた。文学部はそれぞれ個人商店的なところがある。スケールメリットはない。法学も分野が決っているので、スケールはある程度あると思う。科目・分野が決っている。

経済はよくわからない。経済学者の集団として、一定の分野と広がり力をカバーする集団、陣容がいたほうがいいのか、必要に応じ何人かだけいればいいのか。

（大阪府立大学）

経済はある程度人数をきちんと確保してやらないと、きちんとした学生への教育はできないという学内の意見もあり、そう理解しています。

（新大学構想会議）

市場メカニズムと国家の政策の中で揺れ動いている。学者の先生も迷っている。哲学がなくなってしまった。大学にとってはコスト面から経済はいい。

（新大学構想会議）

経済学部には必ず必要な分野といった標準的なものがないので、単に経済学部を作ると、実際はいろんな分野の教員が混在し、学生への教育システムが難しい。

（新大学構想会議）

趣味と雑学みたいになっているように見える。会場に経済学出身の先生はおられますか。

（大阪府立大学）

ここにはいません。

（新大学構想会議）

それって何故。たまたまですか。

（大阪府立大学）

たまたまです。

（新大学構想会議）

現代システム科学域のコアとなる教員はどこが多いのか。

（大阪府立大学）

人数としては、旧人間社会学部の哲学や倫理や社会学や心理など。

（新大学構想会議）

経済学部は、ある意味封鎖したかたち。

（大阪府立大学）

経済学部は半分にわたったが、人間社会学部はバラバラになりました。

（新大学構想会議）

スタートした以上この哲学・理念で4年はやるしかない。

（大阪府立大学）

そのとおり。

（新大学構想会議）

工学部が強かったということか。

（大阪府立大学）

現代システム学域でまとまろうとみんながんばってきました。旧女子大の出身で旧府大と統合した経験をもつ教員は、「やるならやる」という意気込みが強く、やる以上いいものにしよう一緒にやってきました。

（新大学構想会議）

経済は。

（大阪府立大学）

学問分野を崩す気かといわれましたが、こういうふうにはできないですか、こういう人を育てるために、経済というよりは経営的なことをかなり強調して、それでできませんかと投げかけました。それで、マネジメントにしました。マネジメントを訳すると経営で、経済をなくしたと怒られました。そういうやり取りはありました。

（新大学構想会議）

といいながら、民間のシンクタンクは経済が多い。大学の研究者としての経済は本来、何をやってもいい。ただ、大学の中でチームを組まない。それで、民間のシンクタンクに負けている。

（新大学構想会議）

終わります。

以上。